

# 市議団の新年度予算に対する要望書に回答

いわた民報

2020.2.2  
NO.2088

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗  
日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円

日本共産党  
磐田市委員会  
磐田市加茂川通り  
6023-1  
TEL35-1013  
FAX35-2811

生活相談所  
ねづ康広  
大藤笠梅 167-1  
38-0708  
高梨とひろ  
国府台 648-1  
32-2319

## 市議団の要望書に回答

日本共産党磐田市議団は、昨年の11月19日に「2020年度磐田市予算編成に対する要望書（86項目）」を渡部修磐田市長、村松啓至教育長、鈴木昌八市立総合病院事業管理者に提出しました。当局より要望書に対する回答が1月28日にありました。11月市議会の代表質問で取り上げ、答弁されている要望以外の回答について紹介します。

●被災者生活再建支援法の助成対象外となっている「一部損壊」「半壊」住宅に対する、市独自の住宅再建支援制度を創設されたい。

回答 一定の要件の下、国や県の助成制度の対象外となっている住宅半壊の世帯に対して市独自の生活支援補助金制度の創設を予定しています。

## JR新駅・新東名

### スマートインター建設中

JR御厨駅は袋井駅から西に4・6キロ、磐田駅から東に3・2キロの鎌田地内に3月14日開業に向けて建設中です。



建設中のJR御厨新駅

駅舎は橋上式で、ホームは2面2線。駅の南北をつなぐ自由通路があり駅舎に2基、自由通路に3基のエレベーターを設ける予定です。駅舎と自由通路の総事業費は、49億円、その他の工事を含めると約68億円の工事になります。登り用のエスカレーターを開業後に設置する予定になっていますが、市民から下りのエスカレーターの設置も望む声が出されています。

## 建設中の新東名スマートインター



備を行い、さらに利用しやすいスマートインターチェンジにしてほしいとの声も出されています。

磐田市北部の産業の活性化を図るため、新東名高速道路に連結する（仮称）新磐田スマートインターチェンジを2018年6月から工事に着手しています。当初の予定では、2017年度に供用開始予定でしたが、2020年9月供用に向け、道路築造工事を行っています。総事業費は、約44億円、その内磐田市の負担は約19億円です。周辺の整備

## 豊田地区の小中一体校、

### （仮称）磐田市文化会館建設中

豊田中学校敷地内に小中一体校の建設が始まっています。2019年から2020年度にかけて建設工事が行われ、2021年4月開校を目指しています。総工事費は約60億円（既存施設の解体、外構・グラウンド整備など含む）で、校舎棟（普通教室31学級、特別支援教室4学級など）体育館棟、図書館、共同調理場などが建設されます。小中一体校については、様々な意見がある中で進められています。一体校開校後の検証が必要であると考えます。



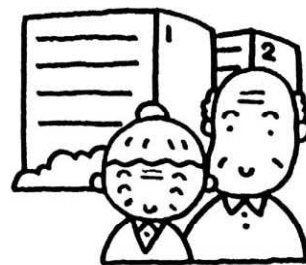
豊田中学に建設中の学府一体校

（仮称）磐田文化会館は、アミューズ豊田南側に総工事費約60億円をかけて、2022年4月開館予定で建設中です。1階席約1000席、2階席500、合わせて約1500席の多目的ホールです。

アミューズ豊田南側に建設中の（仮称）市民文化会館



完成後は、催事がない時でもロビーは常に開放し、市民の交流の場として活用できる計画です。交通機関の整備は、新たにアミューズ豊田をデマンド型乗合タクシーの全地区共通の指定施設に追加し、イベント時における豊田町駅からの移動手段などの検討もしていきたいとのことです。



●住民の命と健康を脅かす上下水道の民営化は行わないこと。

回答 現時点で上下水道事業の民営化については、検討していません。

●高齢者のための高額な補聴器の保険適用を国に求められたい。また、市独自の助成制度を創設されたい。

回答 現在高齢者の地域参加への支援として、補聴器購入に関して市独自の制度化に向けて検討しています。なお、保険適用の国への働きかけは現在のところ考えていません。